

テレビ東京ホールディングス 第1期業績報告

2010年度の決算は、経営統合に伴い、テレビ東京の連結決算をベースに、下期からBSジャパン、テレビ東京ブロードバンドの決算が合算されました。

2010年度(2010. 4. 1～2011. 3. 31)の業績をご報告申し上げます。2010年度の日本経済は、景気刺激策の効果や海外経済の改善を背景に、企業収益の回復が進み、景気は持ち直しの動きをみせたものの自律性は弱く、東日本大震災をはじめ、為替、原油価格上昇等、下振れリスクが以前にも増して強まっています。また、デフレ、雇用情勢の悪化による影響も引き続き注視が必要な状況です。

このような状況の中、当連結会計年度の売上高は1,073億2千7百万円、営業利益は22億7千5百万円、経常利益は26億7千1百万円、当期純利益は26億9千4百万円となりました。

2010年度決算の対象会計期間

会社名	会計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q
テレビ東京	■	■	■	■
テレビ東京子会社(13社)	■	■	■	■
BSジャパン			■	■
テレビ東京ブロードバンド			■	■

対象期間に
含んでおりません

売上高

1,073億27百万円

営業利益

22億75百万円

当期純利益

26億94百万円

1株当たり配当金

25円

売上高

売上全体のうち約78%を占める地上波放送事業において、市況の回復基調と企画セールスの奏功によりスポットCM収入が増加しましたが、年間を通じてレギュラー番組の売上が減少してタイムCM収入が減少しました。一方、テレビ東京ダイレクトの通信販売関連、イー・ティー・エックスのCS放送関連が好調で、地上波放送事業の減少を補いました。東日本大震災の影響としては、報道特番編成によるレギュラー番組の休止や、広告出稿の自粛などによって、地上波放送事業とBS放送事業のCM売上の減少が約5億5千万円発生しました。また、放送周辺事業では、テレビ通販及び番組販売の減収が約1億3千万円発生しました。

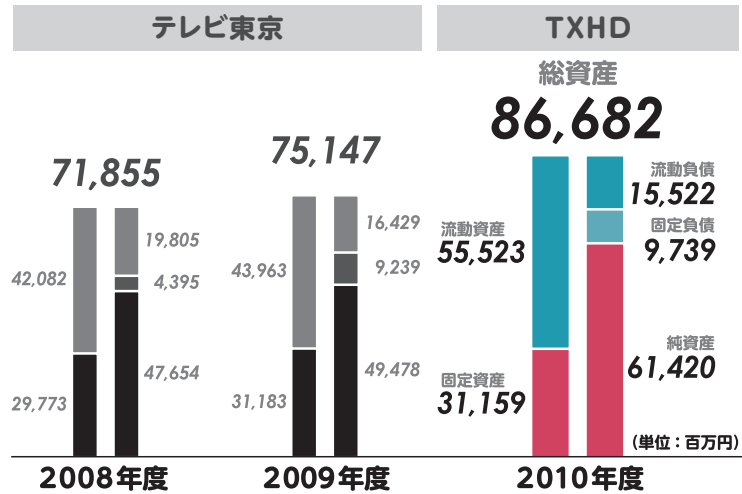
1株当たり配当金

当社の配当方針は、1株当たり20円を下限とした安定配当に加えて、業績に連動した配当として、連結ベースで配当性向30%を目標にしています。当期の年間配当額は35円*で、配当性向(連結)は31.0%になりました。

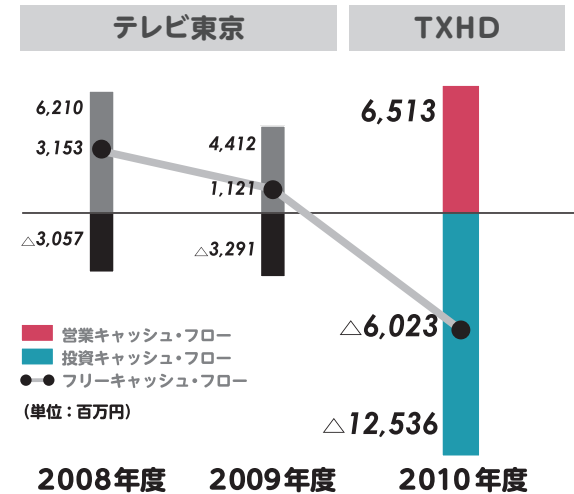
*子会社のテレビ東京が行った中間配当金(1株当たり10円)を含みます。

なお、期末配当金は、『資本剰余金』を原資としているため、資本の払戻しに該当いたします。詳細は、同封の「第1期期末配当に関するご説明」または当社ホームページ(www.txhd.co.jp/ir/)をご覧ください。

資産の状況



フリーキャッシュ・フロー



資産の状況

株式移転により、テレビ東京にBSジャパンとテレビ東京ブロードバンドの資産が合算され、テレビ東京の前期末に比べ、資産合計は115億3千5百万円増加して866億8千2百万円となり、純資産合計は119億4千2百万円増加して614億2千万円となりました。当期末の自己資本比率は69.1%となりました。

フリーキャッシュ・フロー

現金及び現金同等物は、株式移転に伴ってBSジャパンの定期預金等が合算されたこと等により、99億6千4百万円の増加となり、期末残高は158億1千7百万円となりました。営業活動によるキャッシュ・フローは65億1千3百万円の資金取得となりましたが、BSジャパンの定期預金は、投資活動によるキャッシュ・フローにおいて資金支出となるため、フリーキャッシュ・フローは60億2千3百万円の資金支出になりました。

損益の状況

